

平成30年度「里山応援隊活動」実施報告（その2）

1 概要

人口の減少や高齢化により、里山林の適切な管理を地域住民のみで実施することが困難な地域が増えつつあります。

地域住民からの要請を受け、地域住民と森づくりサポーター（※1）が協働で里山林整備を実施する里山応援隊活動を、富山市開ヶ丘地区で平成29年度に引き続き実施しました。

※1 とやまの森づくりサポートセンターに登録されている森林ボランティアのうち、一定の技量・技術を有している会員が登録。

2 日時・場所

（1）日時 平成30年7月22日（日）8：00～11：00

（熱中症対策のため作業時間短縮）

（2）場所 富山市開ヶ丘地内

3 参加者数 23名 （地域住民等18名、森づくりサポーター5名）

4 実施内容と活動状況

活動前ミーティング



参加者の役割分担、作業時の注意（熱中症対策など）事項について確認

協働作業 再生竹伐採



チェーンソーを使った伐採作業は森づくりサポーターが担当。



地域住民等が伐採する場合は、竹挽き鋸で安全に実施。

協働作業 伐採竹の破碎（チップ化）



チップパー機2台を使用して、効率良くチップ化。チップパー機は1台は森づくりサポーターが担当、1台は森づくり塾で操作方法を学んだ地域住民が担当。伐採竹運搬は地域住民等。

活動完了後



今回の活動で、竹林を一部分断できました。地域では、秋期に再度の実施を検討し、再生竹の駆除に取り組んでいきたいとの考えです。